

鎌倉市長 松尾 崇 様

鎌倉市社会基盤施設マネジメント計画策定委員会
委員長 金子 雄一郎

鎌倉市社会基盤施設マネジメント計画の改訂について(答申)

令和8年(2026年)1月9日付け鎌都整第1751号で鎌倉市長から諮問のあった標記の件について、当委員会において慎重に審議を重ねた結果、次のとおり答申します。

1 答申

鎌倉市が管理する社会基盤施設については、高度経済成長期以降に集中的に整備された施設が多く、今後、老朽化の進行に伴い、修繕や更新等に要する費用の増大が見込まれます。また、人口構造の変化、厳しい財政状況、自然災害の激甚化、担い手不足など、社会基盤施設を取り巻く環境は一層厳しさを増しています。こうした中であっても、市民生活や経済活動を支える社会基盤施設(以下「インフラ」という。)の機能を、将来にわたり適切に維持していくことが求められます。

鎌倉市においては、平成27年(2015年)3月に鎌倉市社会基盤施設白書を策定し、平成28年(2016年)3月に鎌倉市社会基盤施設マネジメント計画(以下「本計画」という。)を策定して以降、平成30年(2018年)3月に同白書の改訂を行いました。

本計画策定時に掲げた予防保全型管理と事後保全型管理を効果的に組み合わせた施設の維持管理については、一定の導入とその成果が確認できた一方で、個別施設計画の策定に至らなかった施設や、計画どおりに対策が進んでいない施設も見られました。

今後30年先を見据え、更なる実施体制とマネジメント手法の強化、マネジメント体制の更なる充実、災害リスクへの対応について、特に留意して取り組む必要があります。

以上を踏まえ、次のとおり付帯意見を付します。

2 付帯意見

(1) 実施体制の強化

社会基盤施設の管理を着実に進めるため、必要な人員及び財源の確保に努めるとともに、PPP／PFIの推進、DX、AI活用等による業務の効率化と生産性の向上を図り、実施体制を強化してください。あわせて、国が掲げる群マネの取組も踏まえ、将来的に、分野や行政等の垣根を超えた連携の可能性を視野に入れ、実効性のある推進体制の在り方について検討を進めてください。

(2) マネジメント手法の強化

限られたリソースを有効に活用してインフラを適切に管理するため、施設全体を俯瞰し、優先順位を設定するマネジメント手法を強化してください。その際、コスト、リスク及び機能（パフォーマンス）の観点を踏まえ、将来を見据えてこれらのバランスを適切に図ることにより、インフラの全体最適を目指してください。特に、リソースに制約がある中でのリスクと機能のバランスの取り方について、施設特性に応じたリスク評価手法や機能・管理水準の見直し方法など、具体的な手法の検討を進めてください。

(3) マネジメント体制の更なる充実（PDCA）

計画の推進に当たっては、関係部局が日頃から情報を共有し、課題を早期に把握しながら、施設横断的に対策を判断し、マネジメントを着実に機能させることのできる体制の更なる充実を図ってください。その上で、各施策のPDCAを着実に進めるとともに、それらを束ねて全体最適の実現につなげる、大きなPDCAを推進してください。特に、実施体制やマネジメント手法の運用状況を施設全体の観点から継続的に評価し、必要な見直しにつなげるなど、PDCAのC及びAに重点を置いて取り組んでください。

(4) 災害リスク

優先順位の設定や全体最適の判断に当たっては、災害時のリスクを踏まえることが必要です。今後は災害リスクを意識し、施策の検討や見直しに適切に反映してください。

(案)

3 委員会開催状況

(鎌倉市社会基盤施設マネジメント計画の改訂について)

	開催年月日	内容
1	令和6年8月19日 (令和6年度第1回)	<ul style="list-style-type: none">・計画及び白書の策定経緯及び運用について・計画及び白書の改訂について(改訂方針、進め方、これまでの計画の評価)
2	令和7年1月17日 (令和6年度第2回)	<ul style="list-style-type: none">・アンケートの実施状況について
3	令和7年3月26日 (令和6年度第3回)	<ul style="list-style-type: none">・アンケート・ヒアリングの結果について・PDCAサイクルの評価方針について・施設別施策について
4	令和7年7月28日 (令和7年度第1回)	<ul style="list-style-type: none">・PDCA評価について・将来経費試算について・基本施策について
5	令和7年10月14日 (令和7年度第2回)	<ul style="list-style-type: none">・マネジメント計画改訂の考え方と全体構成・核施設におけるリスクとパフォーマンスについて・将来経費の考え方について
6	令和7年11月11日 (令和7年度第3回)	<ul style="list-style-type: none">・各施設におけるリスクとパフォーマンスについて・将来経費について・マネジメント計画(素案)(案)
7	令和8年1月9日 (令和7年度第4回)	<ul style="list-style-type: none">・将来経費について・マネジメント計画(素案)(案)・諮問
8	令和8年3月23日 (令和7年度第5回)	<ul style="list-style-type: none">・マネジメント計画(素案)・意見公募の結果

(案)

鎌倉市社会基盤施設マネジメント計画策定委員名簿

	氏 名	所属等
委員長	金子 雄一郎	日本大学理工学部土木工学科
副委員長	勝地 弘	横浜国立大学大学院 都市イノベーション研究院 都市イノベーション部門
委 員	飯田 晶子	東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻
委 員	出雲 淳一	関東学院大学理工学部
委 員	堀江 信之	公益社団法人 日本下水道協会

委員については50音順